

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	情報処理Ⅳ
科目基礎情報					
科目番号	0122		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	電子制御工学科		対象学年	3	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	舞鶴高専 moodle にて授業内容に関する資料を提供する。				
担当教員	仲川 力				
到達目標					
<p>1 与えられた簡単な問題に対してそれを解決するためのソースプログラムを、標準的な開発ツールや開発環境を利用して記述できる。</p> <p>2 プロシージャ (または、関数、サブルーチンなど) の概念を理解し、これらを含むプログラムを記述できる。</p> <p>3 ソフトウェア生成に利用される標準的なツールや環境を使い、ソースプログラムをロードモジュールに変換して実行できる。</p> <p>4 ソフトウェア開発の現場において標準的とされるツールを使い、生成したロードモジュールの動作を確認できる。</p>					
ループリック					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目 1		与えられた簡単な問題に対してそれを解決するためのソースプログラムを、標準的な開発ツールや開発環境を利用して問題なく記述できる。	与えられた簡単な問題に対してそれを解決するためのソースプログラムを、標準的な開発ツールや開発環境を利用して記述できる。	与えられた簡単な問題に対してそれを解決するためのソースプログラムを、標準的な開発ツールや開発環境を利用して記述できない。	
評価項目 2		プロシージャ (または、関数、サブルーチンなど) の概念を十分に理解し、これらを含むプログラムを問題なく記述できる。	プロシージャ (または、関数、サブルーチンなど) の概念を理解し、これらを含むプログラムを記述できる。	プロシージャ (または、関数、サブルーチンなど) の概念を理解していなかったり、これらを含むプログラムを記述できない。	
評価項目 3		ソフトウェア生成に利用される標準的なツールや環境を十分に使いこなし、ソースプログラムをロードモジュールに変換して問題なく実行できる。	ソフトウェア生成に利用される標準的なツールや環境を使い、ソースプログラムをロードモジュールに変換して実行できる。	ソフトウェア生成に利用される標準的なツールや環境を使うことができなかったり、ソースプログラムをロードモジュールに変換して実行することができない。	
評価項目 4		ソフトウェア開発の現場において標準的とされるツールを十分に使いこなし、生成したロードモジュールの動作を問題なく確認できる。	ソフトウェア開発の現場において標準的とされるツールを使い、生成したロードモジュールの動作を確認できる。	ソフトウェア開発の現場において標準的とされるツールを使うことができなかったり、生成したロードモジュールの動作を確認できない。	
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 (H)					
教育方法等					
概要	第2学年までの情報処理Ⅰ～ⅢではC言語の基礎について学んだが、この授業ではC++言語について学習する。また、HTMLとPHPについて学習し、静的・動的なWebページの作成について学習する。				
授業の進め方・方法	<p>【授業方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Moodleにて授業内容に関する資料を提供する。</li> </ul> <p>【学習方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分からないことがあれば質問すること。</li> </ul>				
注意点	<p>【成績の評価方法・評価基準】</p> <p>定期試験の成績 (60%) と受講状況や演習の提出状況 (40%) を総合的に判断して評価する。定期試験の時間は50分とする。到達目標の各項目の到達度を評価基準とする。</p> <p>【備考】</p> <p>遠隔授業ではオンラインコンパイラとしてPaiza.ioとして使用する。ホームページ設置するサーバーを用意するので、そこにHTMLファイルとPHPファイルを転送して演習を行う。</p> <p>【教員の連絡先】</p> <p>研究室 S棟3階 内線電話 8958 e-mail: chikaアットマークmaizuru-ct.ac.jp (アットマークは@に変えること。)</p>				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	シラバス内容の説明、Visual C++の使い方	1	
		2週	C言語とC++言語の違い(入出力ストリーム)	1	
		3週	C言語とC++言語の違い(変数宣言の位置、スコープ演算子)	1	
		4週	C言語とC++言語の違い(キャスト、同名の関数)	1	
		5週	動的配列	2	
		6週	class(定義)	2	
		7週	class(プライベートメンバ)	2	
		8週	class(再利用と継承)	2	
	2ndQ	9週	HTMLプログラミング: HTMLの基礎とデータ転送方法	3, 4	
		10週	HTMLプログラミング: 文字の装飾, リンク, 画像の添付	3, 4	
		11週	Webプログラミング (PHP: その1)	3, 4	
		12週	Webプログラミング (PHP: その2)	3, 4	
		13週	課題演習	3, 4	

	14週	課題演習	3, 4
	15週	課題演習, C++解説	3, 4
	16週	(15週目の後に期末試験を実施) 期末試験返却・達成度確認	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	40	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	60	0	0	0	40	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0